

I 次の文章を読んで、後の問い(問1～13)に答えよ。(配点 75)

最も長く眠らなかつたヒトのはなし

ヒトでは長く睡眠をとらないとどのようなことが起こるのだろうか? ランデイ・ガードナーは、カフェインなどのコウインサイ^aを一切使用せずに眠らずにいた最長記録の保持者である。1964年、当時17歳の高校生だったランデイは、クリスマス休暇の自由研究のために「不眠記録への挑戦」を企てた。その結果、それまでトム・ラウンズによって保持されていた260時間の断眠記録を破つて、264時間(11日間)という不眠の記録を樹立した。ランデイの試みを価値あるものにしたのは、その挑戦の後半の数日間がスタンフォード大学の著名な睡眠研究者であるウィリアム・デメント博士の詳細な観察のもとに行われたことである。その後、この記録を破つたと主張する者もたくさん現れたが、I^bが難しく、著名な研究者により詳細に記録されたランデイの断眠は現在でも睡眠研究のうえで重要なデータとなっている。

彼は1964年12月28日の午前6時に目覚め、その後、年を越えても一睡もしないで11日間起きていた。断眠後2日目になると彼は怒りっぽくなり、体調不良も訴え、記憶に障害がみられるようになった。集中力がなくなり、テレビを見ることも困難になったという。4日目には妄想をきたすようになり、ひどい疲労感を訴えた。7日目には彼は震えを呈し、言語障害が認められた。しかし、これらの障害は睡眠研究の専門家が予測していたものほど重篤^bではなかつた。多くの専門家はラットなどを用いた動物実験の結果をもとに、長期の断眠により、精神に異常をきたすか、あるいは重篤な身体症状が出ると警告していたのである。11日間の断眠後、ランデイはようやく眠りにつくと、連続して15時間眠つた。その後、23時間覚醒し、10時間半眠つた。1週間後には完全にもとの生活リズムを取り戻し、コウインショウをきたすこともなかつた。断眠によってさまざまな変調は起こつたが、眠ることによって、完全に回復したのだ。このことから、眠りは絶対に必要なものではあるが、その必要性はあるていど融通がきく柔軟なものであることがわかる。しかし、だからといって、誰もがむやみに断眠に挑戦するべきではないのはもちろんである。彼は数少ない例外かもしれないのだ。

そこでもう一例、長時間眠らずにいた有名な人物を紹介しよう。ピーター・トリップというテイスクジョッキーは1959年に9日間にわたり、不眠でラジオの放送を行った。小児麻痺^cの救済の募金集めのために200時間一睡もしない不眠マラソンに挑戦したのである。3日目になると、彼は幻覚や妄想をきたすようになり、意味不明なことを話すようになっていた。放送が終わりに近づくとつれて妄想や幻覚は顕著になっていった。これはある種の精神シツカン^dのような状態である。このように、長期の断眠は、精神機能に変調をきたすのだ。

ランデイ・ガードナーやピーター・トリップのケースは例外的に長い断眠であるが、ここまではなくても、極度の睡眠不足におちいつたヒトには、非常に短い睡眠、つまりマイクロスリープが現れてくる。ほんの数秒間、あるいはもつと短い一瞬間だけ眠りにおちいる現象である。みなさんも仕事や試験勉強などで徹夜をした翌日、一瞬眠ってしまった、などという経験があるのではないだろうか。それがマイクロスリープである。11日間にもわたって断眠しても脳に障害が残らなかつたのは、このマイクロスリープがかりうじて脳の機能を維持したからとも考えられるのである。

ノンレム睡眠とレム睡眠

私たちが「睡眠」と一口にいうときは、ノンレム (non-REM) 睡眠とレム (REM) 睡眠というまったく違う状態をひとくくりしている。場合によっては、ノンレム睡眠を深い眠り、レム睡眠を浅い眠りという人もいるが、これは少々乱暴である。なぜなら生理学的にみると、脳の状態からも全身の状態からも、ノンレム睡眠とレム睡眠はまったく違うものだからである。覚醒とノンレム睡眠が違うものであるのと同じ程度、あるいはそれ以上に、ノンレム睡眠とレム睡眠は異なるものなのである。ここでノンレム睡眠とレム睡眠の違いについて簡単に説明しておくことにしよう。

ヒトは眠るとまず、ノンレム睡眠に入る。ノンレム睡眠のときは、大脳皮質のニューロン (神経細胞) の活動が低下して、だんだんと同期して発火するようになる。眠りが深いほど、神経細胞の発火はゆつくりと同期して起こるようになる。これは文字通り、脳が「スリープモード」に入ったことを意味する。

ところがしばらく (60〜90分ほど) 経つと、なぜか脳はまた活動を高める。これがレム睡眠である。脳は覚醒時と同様か、あるいはそれ以上に、強く活動をしている。しかし感覚系や運動系が遮断されているため、身体は眠った状態にある。感覚系を介して脳に伝えられるべき情報は、大脳の深部にある「視床」とよばれる情報の中継点を介する。レム睡眠時には、視床での情報伝達が遮断されているのだ。逆に、脳から運動系を介して全身の筋肉に伝えられる情報は、脊髄のレベルでカットされている。つまりレム睡眠時は、脳へのインプット (感覚) と脳からのアウトプット (運動) が、インターフェイスのレベルで遮断されてしまっていることになる。いわば「オフライン」の状態といってもよいだろう。

インプットやアウトプットを遮断しなくてはならない理由は大脳の機能にあるらしい。レム睡眠時、大脳皮質は覚醒時よりもむしろ強く活動している。この状態では、脳を外界と遮断しておかなければ、身体の機能が暴走して、眠っていないながら動きだしてしまうだろう。また、実験的にヒトをレム睡眠の最中で強制的に起こしてみると、ほとんどの場合、被験者は「夢を見ていた」という。つまり、レム睡眠の時には脳の強い活動の反映として夢を見るのだ。

このように、私たちが眠っている間にも、脳はまったく異なる2つの状態 (ノンレム睡眠とレム睡眠) を規則正しく繰り返しているのである。

甲

それにしてもなぜ脳は睡眠中に、わざわざ複雑な手順をとってまでレム睡眠という状態をつくりだし、活動を高めるのだろうか。当然の疑問である。そこで、断眠実験を応用して、レム睡眠のみを選択的に除去しようとする実験が多く行われた。しかし、実際にはレム睡眠のみを除去するのは困難である。通常、レム睡眠はノンレム睡眠がしばらく先行してからはじめて現れるが、レム睡眠のみを除去するには、ポリグラフという装置で観察しながらレム睡眠に入った瞬間に動物を強制的に覚醒させる、ということを行う。ところが、これを繰り返していると、動物がレム睡眠に入るまでの時間 (レム潜時) がだんだん短くなっていき、やがては睡眠におちた直後にレム睡眠が現れるようになってしまう。そのため、睡眠じたいを取り除いたのと同じことになってしまうのである。

前に述べたディスクジョッキーのピーター・トリップは断眠のあとで眠ったとき、通常よりもは

るかに早くレム睡眠に入り、しかもそれが長時間つづいたという。このことは、ヒトには睡眠全体だけではなく、レム睡眠の恒常性を維持しようとする機構もあることを示している。つまりレム睡眠の不足を次のチャンス（睡眠）で補おうとするのだ。このことから、レム睡眠にはノンレム睡眠とは別の機能があることが推測される。もしレム睡眠が「浅い眠り」なら断眠後には眠りをとりもどすために「深い眠り」が現れ、レム睡眠はおさえられるはずである。しかし、実際にはその逆なのだ。

ではレム睡眠はなぜ必要なのだろうか。近年まで、レム睡眠時は夢をさかんに見ることから、記憶の整理に関わっているとされてきたが、最近の研究によつて、記憶の固定や整理にはノンレム睡眠が大きく関わっていることがわかってきた。レム睡眠の機能はますます謎めいたものになっている。

乙

「君がどんなに遠い夢を見ても、君自身が可能性を信じるかぎりそれは手の届くところにある」ヘルマン・ヘッセの言葉である。タイシをいただき、成功を信じて努力する若者に向けられたすばらしい言葉だ。このように「夢」という語が「希望」や「願望」の意味で使われることは多い。みずからの願望が夢となって現れるという考えであろう。しかし、実際にはみなさんの夢は

ア

が多いのではないだろうか？
いわゆる「夢らしい」夢はレム睡眠のときに見ているとされる。ただし浅いノンレム睡眠のときにも夢を見ていることがわかっている。レム睡眠時の夢は奇妙な内容で、感情をとまなうようなストーリーであることが多い。対してノンレム睡眠時の夢は多くがシンプルな内容である。

レム睡眠時に見る夢は不思議で奇想天外なストーリーで構成されていることが多く、物理的、論理的におかしなことが起こる。また、誰かに追かけられる、試験などで失敗する、大切にしている物が壊れるなど、不安や心配、恐怖などの感情と密接に関係する内容であることも多いようだ。ハーバード大学のアラン・ホブソンは、みずからの夢日記を集め、夢の中のストーリーの特徴として、強い情動（恐怖や喜びなど）、非論理的なストーリー展開のほか、運動性という特徴をあげている。つまり夢の中では、自分がなんらかの運動をしていることが多いという。そして、これはレム睡眠時に脳幹の運動に関わる部分が活動しているからだという。このことは、運動学習、つまり手続き記憶の強化となんらかの関係があるのかもしれない。

奇想天外なストーリーと、それにとまなう強い情動（楽しい、怖い、不安などの感情の動き）。こうした要素から、夢は「未来を予見するもの」とか「何かの暗示」など、超 **II** 的なものとしてとらえることも多い。また、フロイトの夢理論の影響から、夢を「潜在的な、あるいは抑圧された欲求が現れたもの」として夢で見たストーリーの分析を試みようとする人もいる。しかし、神経科学者であるわれわれは、夢とは「レム睡眠中に脳が活動するために起こる一種の幻覚」であり、さらに極端には「レム睡眠中は脳機能のメンテナンスのために脳が活動する必要があり、そのときに生じるノイズこそが夢である」ととらえている。たしかに不安が夢にいろいろな形で現れることがあるようだが、決して未来を暗示するような意味はないだろう。夢に出てくるのは、われわれの脳が過去に獲得した記憶の断片である。神経科学者や生理学者はストーリーよりも、夢がどう

して生じるのか、その脳内のメカニズムに興味をもっている。不安に代表される情動が引き金になって、さまざまな記憶が連想的に引き出されてくることはあるが、⁶そのストーリーじたいを分析することには、(神経科学者にとっては)大きな意味はないと考えるのである。

(櫻井 武「睡眠の科学―なぜ眠るのかなぜ目覚めるのか」)

※ 問題作成にあたり、本文を一部改変した。

問 1 傍線部 a ～ e のカタカナは漢字に、漢字はひらがなに直せ。解答は解答用紙の所定欄に読みやすいはつきりした楷書体で書くこと。解答番号は ～ 。

- a コウフンザイ
- b 重篤
- c コウイシヨウ
- d シツカン
- e タイシ

問 2 空欄 ・ に入る語として最も適当なものを、次の①～⑨のうちからそれぞれ一つずつ選べ。空欄 I の解答番号は 、空欄 II の解答番号は 。

- ① 反対 ② 観念 ③ 解答 ④ 妄想 ⑤ 自然
 ⑥ 定義 ⑦ 賛成 ⑧ 実証 ⑨ 解放

問 3 空欄 に入るものとして最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 「成功」あるいは「実践的」内容のもの
 ② 「強い」あるいは「積極的」内容のもの
 ③ 「甘い」あるいは「感傷的」内容のもの
 ④ 「恐い」あるいは「不安な」内容のもの
 ⑤ 「抑圧」あるいは「空想的」内容のもの
 ⑥ 「欲求」あるいは「潜在的」内容のもの

問4 傍線部A「その必要性はあるていど融通がきく柔軟なものであること」の説明として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。解答番号は 9。

- ① 眠りはヒトにとって必要なものではあるが、ヒトの適切な睡眠時間には個人差があり、どれだけ断眠が長くともそれに耐えられる者がいるということ。
- ② 眠りはヒトにとって必要なものではあるが、ヒトの身体は長期の断眠によるさまざまな変調を克服できるものであり、絶対的に睡眠が必要なわけではないということ。
- ③ 眠りはヒトにとって必要なものではあるが、ヒトの身体には多かれ少なかれ睡眠不足に耐えられる許容範囲があるということ。
- ④ 眠りはヒトにとって必要なものではあるが、ヒトの精神には断眠による変調をものともしなだけのしなやかさがあるということ。
- ⑤ 眠りはヒトにとって必要なものではあるが、ヒトには睡眠時間を伸縮的に自動調整する機能が備わっているということ。
- ⑥ 眠りはヒトにとって必要なものではあるが、ヒトの身体はいかなる断眠によっても動物ほど重篤な状態には陥らない回復能力を備えているということ。

問5 傍線部B「ノンレム睡眠とレム睡眠の違い」として該当するものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。解答番号は 10。

- ① ノンレム睡眠のときは常に深い眠りになっているのに対して、レム睡眠のときは常に浅い眠りになっている。
- ② ノンレム睡眠のときは大脳皮質の神経細胞が活動を低下させているのに対して、レム睡眠のときは大脳の視床が活動を高めている。
- ③ ノンレム睡眠のときは脳が「スリープモード」に入るのに対して、レム睡眠のときは脳幹の運動に関わる部分の活動によりなんらかの運動をしていることが多い。
- ④ ノンレム睡眠のときは脳の活動が低下するのに対して、レム睡眠のときは脳へのインプットと脳からのアウトプットが交互に行われている。
- ⑤ ノンレム睡眠のときは記憶の固定や整理が行われているのに対して、レム睡眠のときは過去に獲得した記憶の断片を脳が論理的につなげている。
- ⑥ ノンレム睡眠のときはシンプルな内容の夢を見ることが多いのに対して、レム睡眠のときは奇想天外な内容の夢を見ることが多い。

問 6 傍線部 C 「この状態」が指す内容として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。解答番号は 11。

- ① 脳が「オフライン」の状態
- ② 脳が「スリープモード」に入った状態
- ③ 脳の感覚系と運動系が遮断されている状態
- ④ 身体が眠った状態
- ⑤ 大脳皮質が覚醒時と同様かそれ以上に強く活動している状態
- ⑥ レム睡眠の時に身体を動かしている状態

問 7 傍線部 D 「レム睡眠の恒常性を維持しようとする機構」の説明として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。解答番号は 12。

- ① レム睡眠の不足する状態が続くと、睡眠に入った直後にレム睡眠を出現させる仕組み
- ② レム睡眠が日常的に行われるように、覚醒時にマイクロスリープを発生させる仕組み
- ③ レム睡眠が規則的に起こるように、できるだけ早い時間帯に睡眠へと誘導する仕組み
- ④ レム睡眠ができるだけ長時間持続するように、ノンレム睡眠を完全に除去する仕組み
- ⑤ レム睡眠の時間を極力一定に保つようにするため、レム潜時をゼロにしていく仕組み
- ⑥ レム睡眠を永遠に持続させるために、ノンレム睡眠の時間を自動調整していく仕組み

問 8 傍線部 E 「その逆なのだ」の説明として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。解答番号は 13。

- ① ノンレム睡眠は「浅い眠り」であり、断眠後には眠りをとりもどすために「深い眠り」が現れ、ノンレム睡眠がおさえられるということ。
- ② ノンレム睡眠は「深い眠り」であり、断眠後には眠りをとりもどすために「深い眠り」が現れ、レム睡眠がおさえられるということ。
- ③ レム睡眠は必ずしも「浅い眠り」というわけではなく、断眠後には眠りをとりもどすためにいち早くレム睡眠が現れ、それが長時間続くということ。
- ④ レム睡眠は「深い眠り」であり、断眠後には眠りをとりもどすために「浅い眠り」が現れ、レム睡眠がおさえられるということ。
- ⑤ レム睡眠は「浅い眠り」ではなく、断眠後には眠りをとりもどすために「深い眠り」が現れ、レム睡眠がおさえられるということ。
- ⑥ レム睡眠は「深い眠り」であり、断眠後には眠りをとりもどすために「浅い眠り」が現れ、ノンレム睡眠がおさえられるということ。

問 9 傍線部 F 「レム睡眠時の夢」に最も当てはまりにくい夢を、次の①～⑥のうちから一つ選べ。解答番号は 14。

- ① トイレに入りたいのにドアが開かない夢
- ② ジェットコースターから落下してしまう夢
- ③ 大事な買い物のときに財布を忘れてしまう夢
- ④ 合格発表の掲示板に自分の名前を見つける夢
- ⑤ 仕事のミスにより上司から叱責を受ける夢
- ⑥ 好きな異性にデートを断られてしまう夢

問 10 傍線部 G 「そのストーリーじたいを分析することには、(神経科学者にとっては)大きな意味はないと考える」の理由として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。解答番号は 15。

- ① 神経科学者は、夢が生じる脳内のメカニズムに興味を持っており、フロイトの夢理論に対しては基本的に強く反対する立場を取っているから。
- ② 神経科学者は、レム睡眠中に脳が活動するために起こる一種の幻覚として夢をとらえており、夢には未来を暗示するような意味はないと考えているから。
- ③ 神経科学者は、夢の持つ奇想天外なストーリーはさまざまな記憶が連想的に引き出されたものであると考えており、夢を生み出す脳の機能には関心を持っていないから。
- ④ 神経科学者は、レム睡眠中に脳がその機能をメンテナンスする際のノイズとして夢をとらえており、夢のストーリーについては解明済みであるから。
- ⑤ 神経科学者は、夢がどうして生じるのかという脳内の仕組みそのものよりもレム睡眠の分析に関心を抱いており、夢のストーリーの分析には意義を見いださないから。
- ⑥ 神経科学者は、科学としての客観性を重視する立場から脳内のメカニズムに興味を持っており、非科学的な夢のストーリーの分析に対して嫌悪感を抱いているから。

問11 空欄 に入る小見出しとして最も適当なものを、次の①～⑧のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① レム睡眠は「浅い眠り」か
- ② 断眠実験の失敗が示すこと
- ③ 記憶に関わるノンレム睡眠
- ④ レム睡眠の機能を暴露する
- ⑤ レム睡眠を除去するはなし
- ⑥ なぜレム睡眠が必要なのか
- ⑦ 断眠をつかさどるレム睡眠
- ⑧ 長時間続くレム睡眠の機能

問12 空欄 に入る小見出しとして最も適当なものを、次の①～⑧のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 神経科学者が求める夢
- ② 夢らしい夢のおはなし
- ③ 情動によるふしぎな夢
- ④ フロイト夢理論の影響
- ⑤ ノイズこそが夢である
- ⑥ 運動を起こすレム睡眠
- ⑦ 未来暗示型のレム睡眠
- ⑧ レム睡眠と夢のふしぎ

問13 本文の内容に合致するものを、次の①～⑨のうちから二つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。解答番号は 18 ・ 19。

- ① レム睡眠時に見る夢の内容は奇想天外で、不安や恐怖などの感情と密接に関係することが多いが、アラン・ホブソンによれば夢の中のストーリーの特徴として運動性を指摘でき、これはレム睡眠時に脳幹の運動に関わる部分が活動していることによるものと考えられる。
- ② レム睡眠の恒常性を維持しようとする機構の存在からレム睡眠にはノンレム睡眠とは別の機能があると推測されるが、最近の研究ではレム睡眠時に夢をさかんに見ることから、レム睡眠が記憶の固定や整理に関わっていることが判明している。
- ③ ランデイ・ガードナーもピーター・トリップもともに200時間以上の不眠記録を作ったが、多くの専門家の予想とは違って二人がともに精神機能に変調をきたさなかったのは、断眠中にマイクロスリープが出現して脳の機能を維持したからとも考えられる。
- ④ 夢を「潜在的な、あるいは抑圧された欲求が現れたもの」ととらえて夢で見たストーリーの分析を試みようとする者は、フロイトの夢理論の影響を受けていると考えられるが、奇想天外な夢はもっぱらレム睡眠時の運動学習によって引き起こされている。
- ⑤ 通常、レム睡眠はノンレム睡眠にしばらく先行して現れるが、このレム睡眠のみを除去するには、ポリグラフという装置で観察しながらレム睡眠に入った瞬間に動物を強制的に覚醒させる、ということを行う。
- ⑥ 現在でも睡眠研究における重要データになっているランデイ・ガードナーの不眠記録によると、彼は体調不良、記憶障害、言語障害、妄想などの症状が出たものの、11日間の断眠後、睡眠を適宜取ったことで完全に健康を回復し、断眠の危険性を覆すことになった。
- ⑦ ノンレム睡眠の時は眠りが深いほど大脳皮質のニューロンの発火がすみやかに同期して起こり脳が「スリープモード」に入るが、1時間～1時間半程度経過後に大脳皮質は覚醒時よりもむしろ強く活動し、その反映としてヒトは夢を見ることになる。
- ⑧ 264時間という不眠記録を樹立したランデイ・ガードナーの「不眠記録への挑戦」が価値ある試みになった理由は、クリスマス休暇の自由研究のためとしてだけではなく著名な睡眠研究者であるウィリアム・デメント博士の研究指導を受けたものであったためである。
- ⑨ 睡眠時に脳は決して活動を終始一貫停止させているわけではなく、通常はノンレム睡眠とレム睡眠という生理学的にみて全く異なる2つの状態を規則正しく繰り返しており、特にレム睡眠時には大脳皮質が強く活動し、私たちはしばしば奇妙な内容の夢を見るのである。

II

次の文章を読んで、後の問い（問1～12）に答えよ。（配点 75）

甲

今日なお日本人の多くが庭付き一戸建の住宅を望んでいる。このことは、大都市周辺に続々と建て売り住宅が建ち続けている様からも、その根強い姿勢をうかがうことができよう。

この理由の一つは、今なお私たち日本人の血の中に流れている古代からの伝統である。平安時代に成立した寝殿造りは、貴族の住まいとして敷地の四周が築地塀によって囲まれ、主屋である寢殿を中心に建物や庭が配された広大なものであった。

寢殿の左右や後ろには副屋である対屋が建ち、さらに対屋から南側に中門廊が伸び、また南側の広い庭には池や築山が作られていた。藪を上げれば、内外の空間が一体となるような庭園も含めた住宅様式として、寝殿造りには人間の住まいの一つの理想の姿があった。

ここで重要なことは、都市にあつても高層化することなく、広大な敷地を求めて水平方向への広がりを見せていたこの寝殿造りが、都市住宅であつたことである。

やがて貴族の力が低下し、武士が権力を持つようになると住宅様式も変化しはじめるが、寝殿造りに今日の住宅の祖形的一端を見ることはできる。極論するならば、今日の都市周辺に軒を接して並ぶ建て売り住宅はこの延長線上にあるといつてもよいであろう。いかに狭い敷地であろうと、その四周を各人の塀で囲み、門を構え、I ほどであつても南側に庭を造る。ここに小さな築山を作つて金魚池を掘れば、立派なわが家の寝殿造りが完成するわけである。

しかし、これらの住宅も中に入れば部屋と部屋の間を襖や壁などの間仕切りで仕切り、床のある和室がある場合も少なくないが、こうした様子はまた古代の寝殿造りには見られなかつた。

中世になると、鎌倉政権の成立等により古代貴族の経済力がおとろえ、大規模な寝殿造りは消滅した。本来の寝殿造りでは、家族の一人一人が副屋である対屋に個別にキキヨするものであつた。しかし寝殿造りの縮小・簡略化の中で、最も簡単なものは寢殿と中門廊を残すまでに省略されていった。この結果として、寢殿一屋の中に家族全員が住まねばならず、空間を仕切る必要性から壁や引き違いの建具による間仕切りの発達を促すことになった。

中世も室町時代に入ると、工芸品を飾つてカンシヨウする実用性に富んだ棚や、仏画等の掛け軸のために壁をくぼませ、後の床（床の間）となる押板が設けられた。

また僧侶が学問をするために作った私室の隅の本を置く棚や書きものをする文机を、明るい縁先に作りつけにして生まれた付書院など、後に座敷飾の定型となる中世に生まれたトコ・タナ・シヨインのような要素は、近世の封建的秩序や身分を明確にしようとする中で、接客を中心とする主殿造りとして II されていった。

主殿は近世初頭の上流住宅の中心となる建物で、接客を主目的とする独立した建物であるため、客殿と呼ばれることもあつた。

主殿造りでは、吹き放しの広縁と南庭からなる自然との融合、白砂の前庭、中門等に再構成されてはいるものの、寝殿造りの要素も温存している。

主殿には、トコ・タナ・シヨイン等の座敷飾を全部まとめて最も身分の高い人が座る上段の上座に設けた。これによつて座敷飾は本来の機能とは別に、身分の高い人がこれを背にして人と接見

することにより、威厳を増す目的で用いる権威の象徴と変わったのである。こうして上段側を最も高貴な場所として、近世の新しい封建制に対応し、強く身分格式を秩序づけて書院造りが完成する。書院造りでは寢殿造りの面影こそするが、主殿の特色と書院造りの特色はほとんど同じであり、主殿の成立は基本的に書院造りの成立ともいえる。

書院造りは近世上級武士住宅の代表である大名屋敷に代表される。ここでは能舞台、茶室等の接客施設を含む複雑な建築群から構成されることになる。大名屋敷の御成門を入った正面の広間こそかつての主殿に当たる建物で、広間は秀吉の聚楽第以来の呼び方といわれている。

ところで、そのころ自由都市界の納屋衆であった千利休は、貴族的な茶の湯を否定して草庵風茶室を創始した。そこでは金箔、障壁画等の装飾が排され、土壁と自然の素材を用いながらも豪華な書院造りにも劣らない美しさを創り出した。

この数寄屋（茶室）の造形手法は、書院造りの空間構成を基本としながらも、古代貴族の王朝文化の伝統を受け継いでもう一つの書院造りを造り上げた。それが桂離宮に代表される数寄屋風書院または数寄屋造りと呼ばれているものである。書院造りが公的あるいは格式的な住宅であるのに対し、数寄屋造りは格式ばらない私的な住宅ともいえよう。

近世に発生する富裕な町人の中には武家屋敷に出入りする豪商もいて、彼らの町家には、武家の書院造りの影響から床のある座敷が作られたものもあつた。しかし幕府の禁令によつて豪華な装飾が使えなくなると、経済力のある町人は、一見質素に見える数寄屋の手法を取り入れはじめた。これは贅を尽くすことのできる財力の中で数寄屋本来の精神がねじ曲げられてしまった表現であつた。しかしこの数寄屋の手法は、町家等、民家のごとき庶民住宅にまで影響を与え、取り込まれていくことになった。

こうして書院造りとともに数寄屋もまた、今日の私たちの住宅の中に和風住宅、あるいは和室として継承されているのである。

この視点を飛躍させれば庭付き一戸建住宅にかぎらず、都市に建つ近代建築の中にも伝統的な姿がとどめられていることに気づく。すなわち都心の高級集合住宅、いわゆるマンション等の玄関回りに作られた植え込みや石、あるいは低い塀を見ることができよう。無意識のうちにも計画され処理されているこれらの手法は、遠く古代の寢殿造りに遡る伝統であり、そこで示されている肌理のこまかさ・巧みさは、近世の数寄屋につながるものと見てよいであろう。

2

日本の近代住宅は、古代に遡る伝統を受け継いでいる一方、明治時代以後は西洋の住宅から大きな影響を受けている。

長い封建制度が解体した明治維新後は、先進諸国を見習つて西洋文明を導入し、急速な近代化が進められていった。欧米人との接触の機会が多かつた上流階級の人々は、早くに洋風の生活様式を取り入れ、江戸時代の武家の住宅形式を受け継いだ既往の和風邸宅のほか、純粋な洋館を建設して接客の場とした。この木に竹を継いだような和洋二館様式は、上流階級の象徴として後々まで根強い影響を及ぼすことになる。すなわち、明治末期以後、大正、昭和初期の中産階級の間では、二

館様式の縮小・簡略化された形として、和風住宅の玄関脇に洋風の応接間を設けてそのなごりをとどめ、さらにこのスタイルは第二次大戦まで、一戸建住宅のごく一般的な姿として広く定着した。

大正から昭和にかけてのこれらの住宅の間取りは、家の中央に廊下を設けて南北に二分し、南側には先の洋風応接間や床の間付きの座敷を、北側に台所や浴室、使用人の部屋等を設けたものが多く、共通して中廊下の働きが特徴になっていることからこれらの中廊下式住宅と呼んでいる。

この中廊下式住宅は、中廊下によって各室のプライバシーを保たせようとする西洋の思想を導入したものであったが、各部屋の間仕切りが襖であることや、プライバシーが保たれているのは家族と書生や使用人との間だけであって、大切な家族間には前時代からほとんど進歩が見られず、相変わらず主人と接客中心であることに変わりはなかった。しかし中廊下形式の住宅は、部屋を通らねば他の部屋に行けないような前時代の間取りと比べてはるかにプライバシーが増しており、これは中産階級の住宅の典型として、第二次大戦前まで圧倒的多数を占めていた。

大正の中ごろになると、中廊下を廃止して居間を中心とする生活観念が新しい家族関係の上にテ
イシヨウされた。しかしこの居間中心式住宅は、椅子座の普及とも密接な関係にあったため、西欧の近代的な生活に憧れる知識人たちの間でのみ採用された。これが一般に普及するのは、明治期に次いでもう一度、日本の住宅が西洋から影響を受ける第二次大戦後のことであり、民主主義を前提として **III** など、作業能率の良さに関心が持たれるようになってからであった。

終戦とともにもたらされたアメリカの民主的で合理的な生活様式の情報は、後の日本の住生活に多大な影響を及ぼすことになった。戦争の被害を受けることの少なかったアメリカでは、すでに住生活をより快適にするための努力が払われており、日本もまたアメリカに目を向けたのである。

映画や雑誌による情報、とりわけテレビジョンの普及によってアメリカのホームドラマ、例えば「パパは何でも知っている」（日本テレビ・昭和三年八月より放映）等が茶の間に提供されると、主人公とその家族が展開する住生活の数々は理想的なものとして印象づけられた。

また、「朝日新聞」に連載されたアメリカの漫画「ブロンデー」は、まだ娯楽誌が少ない時代に手近にアメリカの家庭生活を伝える数少ない情報であった。

朝日新聞記者大柳周三氏は、第二次大戦の日本兵捕虜としてオーストラリアでヨクリユウされていたとき、アメリカ軍により配布された新聞で「ブロンデー」を見た。その平和で豊かな家庭生活に心ひかれ、帰還後に朝日新聞社学芸部長として復帰すると、この漫画の連載を強く希望した。一方、『週刊朝日』の企画により、朝日新聞社出版渉外課長、長谷川幸雄氏の尽力で、昭和二一年から一〇年間同社の刊行物に掲載され、新聞には昭和二四年一月一日から二六年四月一五日まで連載されることになった。「ブロンデー」の作者であるチック・ヤング氏は一九七三年に亡くなったが、子息ティーン氏によって引き継がれ、世界五五か国の二〇〇〇近い新聞に掲載されていることから見ても、この漫画がいかに国際的な情報であったかがわかる。「ブロンデー」(BLONDIE・主人公の名、バムステッド・ダグウッドの妻で一男一女の母)は、ごく一般大衆向けの家庭漫画であり、政治や社会ブウシ^eの意図はない。日本でも同じタイプの漫画として、「ブロンデー」に引き続き「朝日新聞」に連載された長谷川町子による「サザエさん」がある。一見類似しているようであるが、二つの作品には大きな違いがある。「サザエさん」は戦後の小市民家庭の貧しさ・切実さを題材としながらも明るく扱って、読者に強い親近感とキヨウメイ^fを与えた。一方の「ブロンデー」は

一九二〇年代からアメリカで起きた家庭電化ブームをそのまま投影し、Ⅳに題材を得ている。また、この漫画は日米同時掲載を実行していたため、世相や文化に時間的なずれが生じてこなかった。

このころの日本は、生活物資の不足からようやく余裕が出てきた時期であったが、間もなく経済の高度成長期を迎えるにおよび、この漫画を単に憧れに終わらせることなく、アメリカの住生活文化をより一層強く受け入れて急速に吸収したのであった。例えば台所に描かれているフード等は、これを見慣れていない日本人にとってはじめは珍しいものに映っていたが、間もなく一般住宅の台所用換気扇が市販されるにおよんで、あつという間にどこの家庭にも見られるようになった。

こうしたアメリカの快適な住生活の影響は、暖房設備から作りつけ家具にいたるまで幅広く、^Fとりわけ台所の近代化に顕著に現れた。

(後藤 久「都市型住宅の文化史―石の文化と木の文化」)

(注) 肌理：材木の木目のこと。

※ 問題作成にあたり、本文を一部改変した。

問 1 傍線部 a ～ f のカタカナを漢字に直せ。解答は解答用紙の所定欄に読みやすいはつきりした楷書体で書くこと。解答番号は 20 ～ 25。

- | | | |
|---|-------|--|
| a | キキヨ | 20 |
| b | カンシヨウ | 21 |
| c | テイシヨウ | 22 |
| d | ヨクリエウ | 23 |
| e | フウシ | 24 |
| f | キヨウメイ | 25 |

問 2 空欄 **I** に入るものとして最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

解答番号は **26**。

- ① 猫に小判 ② 馬の耳に念仏 ③ 馬があう
④ 馬耳東風 ⑤ 猫のひたい ⑥ 猫の前のねずみ

問 3 空欄 **II**、**III**、**IV** に入るものとして最も適当なものを、次の各群のうちから一つ選べ。空欄 **II** の解答番号は **27**、空欄 **III** の解答番号は **28**、空欄 **IV** の解答番号は

29。

- II** ① 趣味化 ② 様式化 ③ 規則化
④ 装飾化 ⑤ 民主化 ⑥ 庶民化

- III** ① 主婦の労働の軽減 ② 市民生活の豊かさ ③ 社会の効率化
④ 社会生活の均等化 ⑤ 会社業務の軽量化 ⑥ 接客中心の間取り

- IV** ① 社会生活の保持 ② 電化製品の機能 ③ 生活の現状維持
④ 社会経済の活性 ⑤ 電化製品と人間 ⑥ 住生活の豊かさ

問 4 傍線部 A 「今日なお日本人の多くが庭付き一戸建の住宅を望んでいる」の理由として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。解答番号は **30**。

- ① 都市住宅として存在した寢殿造りが、日本人の考える理想的な住宅として中世以降建てられるようになり、それが日本住宅の伝統的な様式となったから。
② 内外の空間が一体化した寢殿造りは、住居空間の一つの理想であると同時に、日本における住宅様式の伝統となっているから。
③ 現代日本人の住宅観には、広大な敷地を求めて、水平・垂直方向に広がりを持たせるように設計された寢殿造りの強い影響があるから。
④ 貴族の寢殿造りと武士の住宅様式を融合させた中世日本人の住宅観は、現代の住宅様式に脈々と受け継がれているから。
⑤ 人間の住まいの一つの理想であった寢殿造りを今現在の住宅の原形と考え、我々はそれを日本の伝統として古来^{から}崇^まめているから。
⑥ 寢殿造りと武家様式の住宅とを折衷させた様式が、現代日本における住宅の原形となり、それが伝統になっているから。

問 5 傍線部 B 「間仕切りの発達を促すことになった」の理由として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。解答番号は 31。

- ① 上流住宅の中心となる寢殿造りに、接客を主目的とした部屋が必要とされたから。
- ② 中世になると、工芸品を置く棚や床の間となる押板が設けられるようになったから。
- ③ 寢殿造りが縮小・簡略化したことによって、家族の関係が緊密になっていったから。
- ④ 内外の空間が一体となるような住宅様式に家族を重視する武家様式が入り込んだから。
- ⑤ 寢殿造りが縮小・簡略化していく中で、家族一人一人の生活空間が重視されたから。
- ⑥ 古代から中世にかけて登場した武士によって、家族の安全が重視されたから。

問 6 傍線部 C 「権威の象徴と変わったのである」の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 32。

- ① トコ・タナなどの座敷飾りは、中世においては実用的なものであったが、近世になり身分を明確化するため利用されるようになったということ。
- ② トコ・タナなどの座敷飾りは、身分ある僧侶が私室にのみ置くものであったが、近世になると一般民衆にも広まったということ。
- ③ トコ・タナなどの座敷飾りは、中世では一般の人も家庭で使用する棚や文机などを指したが、近世初頭になると実用性を失い来客を待遇するためのものになったということ。
- ④ トコ・タナなどの座敷飾りは、近世初頭の主殿で上段の上座に設けられ、一般人でも上下関係を意識できるようなものになっていったということ。
- ⑤ トコ・タナなどの座敷飾りは、貴族や武家の品格を向上させたものであり、それらを持ち合わせた書院造りは近世において権威の象徴になったということ。

問 7 傍線部 D 「この視点」の説明として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。解答番号は 33。

- ① 日本人が、現在でも庭付き一戸建住宅を羨望する根拠になっているという視点。
- ② 寢殿造りなど古代以来の住宅様式の一部が、現代住宅に伝統としてあるという視点。
- ③ 数寄屋造り本来の精神とは異なった新たな様式を創出していこうとする視点。
- ④ 数寄屋風書院が、現代日本における住宅環境の元になったという視点。
- ⑤ 数寄屋風造りの様式が、日本の現代住宅様式に継承されているという視点。
- ⑥ 書院造りが、今日の和風住宅の間取りに直接的な影響を与えているという視点。

問 8 傍線部 E 「ごく一般的な姿として広く定着した」の説明として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。解答番号は 34。

- ① 上流階級の象徴としての和洋二館様式は、縮小・簡略化という形で明治末期以降の中産階級の間で広まり、さらに二戸建住宅の一つのモデルになったということ。
- ② 西洋のものを取り入れて生活をしている上流階級に憧れを抱いた中産階級が、住宅の外観・内装を上流階級に合わせたものが、一つのモデルになったということ。
- ③ 上流階級の住宅の間取りをまねた明治末期の中産階級たちが作り出した住宅様式は、最先端の西洋式住宅を改良したもので、これが戦後住宅の基本となり、広まったということ。
- ④ 近世になって数寄屋本来の精神がねじ曲げられてしまったことによつて、数寄屋の手法が庶民住宅に影響を与え、さらには現在の和風住宅のモデルになったということ。
- ⑤ 中廊下式住宅と呼ばれる住宅様式は、完全に個人のプライバシーを守ることができたので、大正から昭和にかけて中産階級の典型的な住宅様式のモデルになったということ。
- ⑥ 前時代の良い点のみを踏襲しつつも各室のプライバシーを保たせようとする西洋の思想が中廊下式住宅に取り入れられた結果、中産階級に受け入れられ広まったということ。

問 9 傍線部 F 「とりわけ台所の近代化に顕著に現れた」の理由として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。解答番号は 35。

- ① 戦後間もない頃からアメリカの住環境を手本にしてきた日本では、高度経済成長期を迎えるにあたってアメリカの住生活文化の中でも特に台所の設備に注目したから。
- ② 「ブロンデイ」に憧れを持った日本人は、戦前までの台所設備との融和を図りながら、アメリカの住生活文化を急速に取り入れ、自分たちの食生活を豊かにしようとしたから。
- ③ 日本の住宅が西洋からの影響を強く受けるようになったのは、漫画「ブロンデイ」に描かれた生活に触発された知識人が特に台所の近代化を図ったから。
- ④ 「ブロンデイ」に描かれる台所が、西洋社会の生活水準として世界各国に知られるようになると、その生活水準の高さに感嘆した人が類似品を購入するようになったから。
- ⑤ アメリカで家庭電化ブームが起きた頃の日本は、生活に余裕が出てきた時期であり、「ブロンデイ」に描かれる台所用電化製品に憧れをもったから。
- ⑥ アメリカの家庭生活を伝える数少ない情報源であった「ブロンデイ」には、日本人が見たこともない豊かな食生活が描かれており、そこを日本人が見習ったから。

問 10 空欄 に入る小見出しとして最も適当なものを、次の①～⑧のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 古代における日本住宅の形成過程
- ② 現代日本住宅における様式の混乱
- ③ 現代日本住宅における間取りの美
- ④ 寢殿造りと書院風造りの様式の差
- ⑤ 日本住宅における古代からの伝統
- ⑥ 数寄屋書院造りの創造性と発展性
- ⑦ 現代日本住宅の歴史的変容と保存
- ⑧ 日本住宅の歴史的継承とその方法

問 11 空欄 に入る小見出しとして最も適当なものを、次の①～⑧のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 漫画から創出された日本の近代住宅様式
- ② 日本の近代生活スタイルと西洋との比較
- ③ アメリカと日本における住宅様式の相違
- ④ 日本に輸入された西洋家電ブームの効果
- ⑤ 家電製品を中心とした日本式の住宅改革
- ⑥ 日本近代住宅を快適な住生活にした工夫
- ⑦ 日本近代住宅と西洋式住宅との折衷様式
- ⑧ 日本の近代住宅における西洋からの影響

問12 本文の内容に合致するものを、次の①～⑨のうちから二つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。解答番号は

38

 ・

39

 。

- ① 平安時代の寝殿造りは、主屋である寝殿の左右や後ろには副屋である対屋が建ち、西にある広い庭には池や築山があるなど、水平方向への広がりを見せていたことから、理想的な都市住宅であったといえる。
- ② 貴族が台頭するとともに寝殿造りには、部屋と部屋の間を襖や壁などで仕切ることや、床のある和室が見られるようになるが、寝殿造りが後世における住宅の祖形となっていることは確実である。
- ③ 茶室の造形手法は、古代貴族の王朝文化の伝統を受け継ぐ一方で、桂離宮に代表される数寄屋風書院を生み出し、さらに近世初頭における町人の長屋住宅にも取り入れられるようになっていた。
- ④ 主殿造りも書院造りも寝殿造りの要素を持っているが、主殿造りは客と接見することに重点を置いているので、部屋ごとの装飾も華美なものとなっているのに対して、書院造りは武士の身分に応じた間仕切りがされるなど、質素なものになっている。
- ⑤ 欧米人と接触の多かった明治維新後の上流階級の人々の住宅形式を和洋二館様式といい、この形式は上流階級の象徴として、大正から昭和にかけてあった中廊下式住宅にまで強い影響を及ぼした。
- ⑥ 中廊下式住宅は、各室のプライバシーを保たせようとする西洋の思想を導入したものであったが、大正時代の住宅と同様に家族間に関するプライバシーは守られておらず、しかも間取りに関しては前時代と何の変化もなかった。
- ⑦ 居間中心式住宅が、西欧の近代的な生活に憧れる知識人たちの間でのみ採用されたのは大正時代の中頃であるが、この住宅が一般に普及するのは、日本の住宅が西洋から影響を受ける第一次大戦後のことである。
- ⑧ 雑誌やテレビジョンなどからアメリカの合理的な生活様式の情報を得た日本人は戦後、アメリカの住生活を理想的なものとし、高度経済成長期にその住生活文化を一段と強く受け入れ、吸収していった。
- ⑨ 漫画「ブロンディ」は作者が亡くなった後も、世界の二〇〇〇近い新聞に連載されるほどアメリカの生活を世界に伝える役割を担っていたが、その一方で日本の「サザエさん」は戦後をどのように豊かに過ごすかというところに重点があった。